

今回は先般当財団で実施した、埼玉県さいたま市浦和美園地区で導入したエネルギーマネジメントシステム（EMS）に関する調査についてお知らせします。

現在気候変動対策として、脱炭素社会実現に向けた様々な取り組みが行われています。そのひとつが EMS で、施設などで使用しているエネルギーの状況を自動的に収集し、それを制御する仕組みです。

上述地区の新築分譲住宅 51 戸には太陽光パネルが設置されている他、地区内の「チャージエリア」に蓄電池、電気自動車及び充放電器などが備えられています。各家庭で発電した電気を一箇所に集めてから再分配し、太陽光の余剰時には蓄電、不足時に放電するなどして、再生可能エネルギーを有効活用しています。太陽光パネルの設置費用を電力の小売や太陽光発電を手掛ける事業会社が負担し、居住者は使用電力相当の代金を同社に支払う形式です。地区内の必要な電力の 6 割程度を太陽光発電だけで賄っています。

住宅に係る再生可能エネルギー活用の取り組みは、このような地区全体で太陽光発電設備を導入するスマートタウン・コミュニティ以外にも広がりを見せそうです。東京都では、一戸建て住宅を含む新築建築物を対象とした太陽光パネル設置の義務付けに向け動いています（当義務は、住宅メーカーなどの事業者に課せられます）。

果たして、脱炭素社会実現に不可欠な再生可能エネルギーの活用を進めるには、どのような施策が有効なのでしょう、またその導入にはどのような課題があるのでしょうか。当調査報告の詳細は動画化の上、当財団動画学習サイト「早わかり！クルマ塾」内の「最新のクルマ・交通情報」コーナーに近日掲載する予定です。

【「早わかり！クルマ塾」内、「最新のクルマ・交通情報」コーナー URL はこちら↓】
<http://www.jaef.or.jp/6-kurumajuku/johokan/latest-news/index.htm>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

▼"ツイッター"を始めました。
<https://twitter.com/jidousyakyouiku>

▼本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、以下よりお願いします。
<https://matomete-mail.com/bm/p/f/tf.php?id=149239601>